

# 環境市民活動助成セミナーを実施。



「助成制度を知り、助成金を有効に活用するために」と題し、2004年11月6日(土)の午後一時から、札幌エルプラザ2階、札幌市環境プラザ環境研修室において、『環境市民活動助成セミナー』を開催しました。当日は、多数の会員の方を含め、あわせて47名の方にご参加いただきました。

## 11月



第一部は、「助成制度紹介と助成申請書の記入例」をテーマに、各助成団体の担当者である北海道環境財団管理課長の茂野均さん、日立環境財団事務局長の辻井完次さん、セブンイレブンみどりの基金事務局の兵頭映子さんに、それぞれの助成制度「平成16年度環境保全活動支援助成」、「平成17年度環境NPO助成」、「2005年度環境市民ボランティア活動助成制度」について、助成申請書の記入例を交えて、注意事項や留意点をわかりやすく説明していただきました。



第二部は、「助成団体が果たす役割と環境市民活動への期待」をテーマにパネルディスカッション。きたネット代表で北ぐにの森づくりサークルでも活躍する倉持寿夫さんがコーディネーターを務め、第一部で助成制度の説明をしていただいた3人の助

成担当者、これまでに何度も助成申請を経験している下川自然を考える会の宮田修さんが申請をする側の立場として加わり、4人をパネラーとしてディスカッションを行いました。

茂野さん、辻井さん、兵頭さんの3人に、それぞれ助成を行う側から、市民活動にどのような期待をしているのかを話していただいた前半は、助成制度を足がかりとして将来的に自立できる活動をしてほしい、市民の立場だからこそ可能になる環境活動を行っていただきたい、といった意見が出されました。

また、参加者からは、過去に助成を受けた制度に再度申請することができるとか、助成を受けた場合に報告書はどのようなものを提出すればよいか、といった質問があり、各助成担当者から回答があったほか、パネラーディスカッションに続いての自由な名刺交換・情報交換の時間には、参加者の方々が自分たちの活動が助成対象に該当するかなど、熱心な質問や回答が行われました。

後半は宮田さんからの、申請の簡素化や申請時期の多様ななど、より利用しやすい制度にし

てほしいとの投げかけで開始。助成を行う側からは、より活用しやすい制度になるよう務めていきたいが、限りある資金を運用する立場としてはなかなか難しい、といった意見が出されました。その他、このような状況だからこそ、今回のセミナーのような試みを含め、きたネットには、今後も助成制度については、今後も助成制度についてのわかりやすい情報提供を行ってほしいとの要望も出されました。

### 開催概要★

### 環境市民活動助成セミナー

～助成金を知り、助成金を有効に活用するために～

主催	北海道市民環境ネットワーク
後援	北海道／札幌市／財団法人環境財団／財団法人イオン環境財団／セブンイレブンみどりの基金／財団法人日立環境財団
開催日時	2004年11月6日(土)13:00～17:00
開催場所	札幌市環境プラザ環境研修室(札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階)
プログラム	13:00～13:15 開会、代表挨拶
	13:15～14:45 各財団による助成制度紹介、助成申請書記入の説明
	15:00～16:00 パネルディスカッション～助成団体が果たす役割と環境市民活動への期待
	16:00～16:10 閉会
	16:10～17:00 名刺交換、情報交換
	17:00～
参加費	北海道市民環境ネットワーク会員 無料／一般 500円(資料代)

なお、当日は、イオン環境財団の助成担当者にもご参加いただく予定でしたが、新潟県中越地震災害復興支援のため、今回は参加を見送られました。また、セミナー会場の受付では、地震災害復興支援のための募金を行い、集まった合計4130円は、日本赤十字社を通して寄付いたしました。